

保護者様

丹波市立春日部小学校

令和5年度 学校評価アンケート集計結果について

昨年の12月中旬から末にかけて実施しました学校評価アンケートの集計結果をご報告させていただきます。

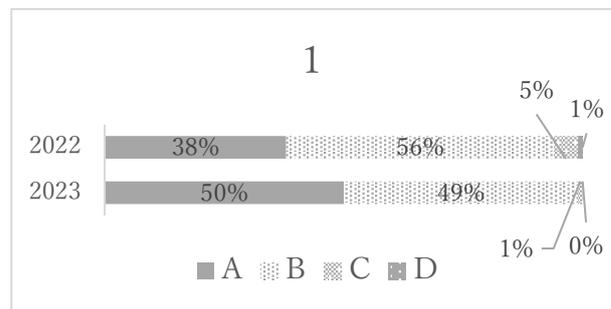
今年度の保護者アンケートは、全校生 106名のご家庭に実施し、回収率は、92.5%となりました。また、同時期に児童にもアンケートをとりました。その結果を、回答がA(そう思う)かB(大体そう思う)を選んだ方とC(あまりそう思わない)かD(思わない)を選んだ方をそれぞれ合計し、肯定的な回答が95%以上のものや昨年比±5%以上違う項目についてまとめております。内容をご確認いただきますと共に、学校と家庭・地域が一体となって、子どもたちを育てていけるようご支援をよろしくお願いいたします。

保護者アンケートより

○肯定的な回答が増えた、または95%以上のもの

1. 学校は、学校生活の様子がよくわかるようにしている。(学校だより、コミスクだより、学級通信、HP(校長通信、学年のページ)、連絡帳等)

- ・肯定的な回答が99%と高い割合であった。
- ・学校からのお便りや通信をよく読んでいただき、学校生活の様子がよく分かると思っただいている。今後も継続していきたい。



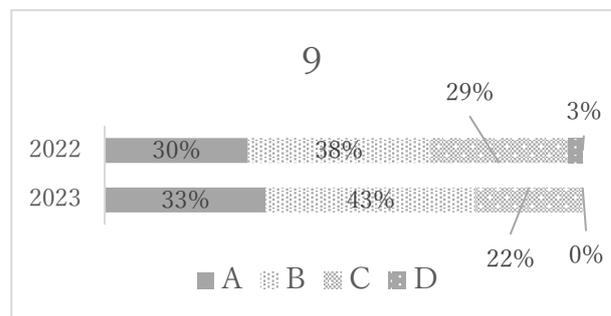
6. 学校は、地域とともにある学校づくりを進め、教育の充実に努めている。

- ・肯定的な回答が99%と高い割合であった。
- ・全校での川活動や黒枝豆の収穫体験の他、学年毎に地域と関わるふるさと学習を取り入れ、児童が地域を知るきっかけづくりに取り組んでいる成果だと考えられる。
- ・今後も地域の方々为学校に関わっていただけるように、地域全体にサポートスタッフを募集してお世話になりたい。



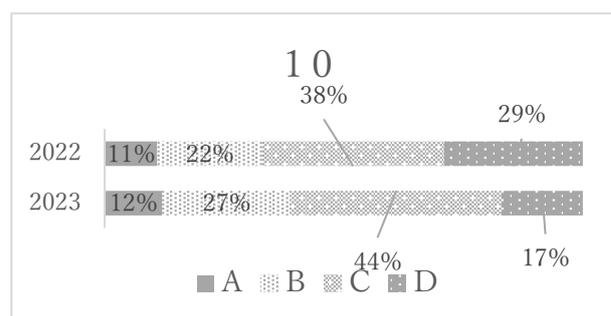
9. 子どもは、家庭学習が習慣化している。

- ・昨年度に比べて8%アップ(68%→76%)であったが、否定的な回答も20%を超えたままである。
- ・家庭での協力を得ながら、多くの児童は担任から出された宿題や自主学習等に取り組もうとしている。一方で、家庭学習の習慣がなかなか定着しづらい児童も見られる。
- ・今後も家庭と連携しながら、家庭学習のさらなる定着や自主学習の取り組み等を図っていきたい。



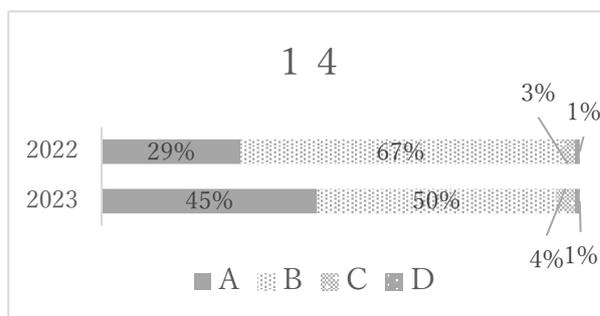
10. 子どもは家庭読書が習慣化している。

- ・昨年度に比べて6%アップ(33%→39%)であったが、否定的な回答が過半数を占めている。
- ・小さい頃からゲームや動画等を長時間楽しんでいる児童も多く、家庭での読書時間を大きく上回っている様子が見受けられる。
- ・今後も家庭と連携しながら、読書をはじめ余暇の過ごし方についても考える機会を設けていきたい。



14. 学校は、人権教育(ジェンダー平等教育を含む)を推進するとともに、一人ひとりのよさがんばりを認めている。

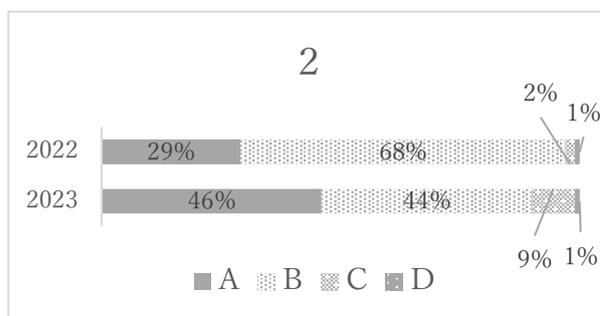
- ・肯定的な回答が95%と高い割合であった。
- ・学校朝会や道徳、総合的な学習の時間等、人権啓発の機会を多く持っている。これからも全職員で全児童を見守り、一人ひとりの良さを頑張り認めていきたい。



△肯定的な回答が減ったもの

2. 学校は、子どもが楽しく学校に通えるように、生活指導上の問題可決(いじめ、不登校等)や未然防止に努めている。

- ・昨年度に比べて7%ダウン(97%→90%)。
- ・いじめアンケートや日々の見取りをしているものの、それを保護者の方に実感していただけない場面があったと考えられる。
- ・子どもたち一人ひとりにとって楽しい学校になるように、全職員で全児童を見守り、共通理解を図って、問題解決や未然防止に努めていきたい。



8. 子どもは、地域であいさつをしている。

- ・昨年度に比べて9%ダウン(93%→84%)。
- ・児童アンケートで「学校や家、地域でじぶんからあいさつをしている。」と回答した児童は96%で昨年度比+3%であった。登下校時など児童だけの時は、あいさつを頑張っているのではないかと考えられ、保護者の方と感じ方の違いがあると考えられる。
- ・今後も生活目標に入れるなどして、推進していきたい。



児童アンケートより

○肯定的な回答が増えた、または95%以上のもの

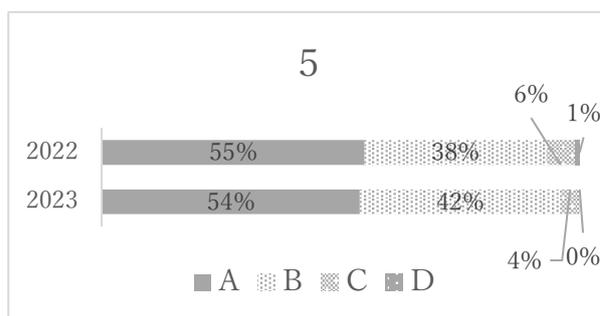
4. 学習がわかりにくいときに、先生にたずねやすいですか。

- ・肯定的な回答が90%で、昨年度に比べて9%アップ。
- ・わからない時にわからないと言える学級づくり、児童の育成をかねてより目指してきた成果だと考えられる。
- ・これからもみんなで間違いから学んだり、多様な意見を認め合ったりする学級づくりや仲間づくりを継続していきたい。



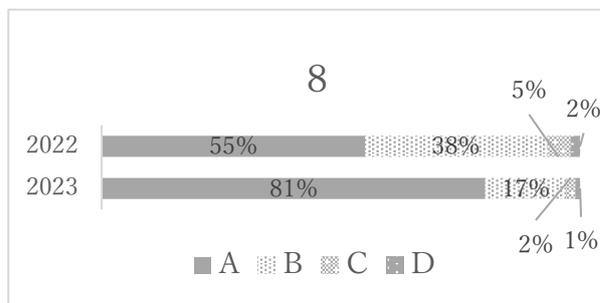
5. 学校や家、地域で、自分からあいさつをしていますか。

- ・肯定的な回答が96%で高い割合であった。
- ・生活目標でステラ(星)をみんなで集めるなど、頑張りが見え可視化できる取り組みの成果と考えられる。
- ・これからも大きな声で自分からあいさつできる児童の育成に努めたい。



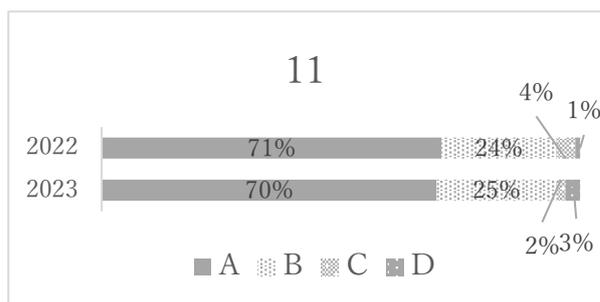
8. 授業中、先生たちは、わかりやすく教えてくれますか。

- ・「そう思う」と回答いた児童が 81%で、昨年度に比べて 26%アップ。
- ・昨年度から国語科の研修を行っている。授業に音読を取り入れたり、学びを生かした言語活動(まとめ)を行ったりすることで、児童の意欲も高まり、「わかった」という自信に繋がっている。
- ・ペアやグループで学習をしたり、タブレットやプリントを学習に用いたり、児童が自分に合った学び方ができるように工夫改善を行ってきた成果だと考えられる。



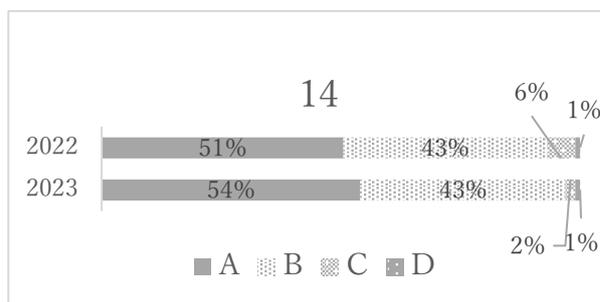
11. タブレットを使った授業は楽しいですか。

- ・肯定的な回答が昨年度同様95%と高い割合であった。
- ・友達と協働編集をするなど対話をしながら学習することで「楽しい」と感じることができると考える。
- ・児童自身が、ネット検索や動画視聴などでより具体的に詳しく物事を調べたり、プログラミング学習などで試行錯誤したりすることができ、学びの満足感に繋がっている。



14. 人を大切にすることや言葉遣いや声かけをしていますか。

- ・肯定的な回答が 97%と高い割合であった。
- ・「あったかことばをふやそう」という月目標を設定したり、児童会児童による「いじめ0集会」を行ったりと、全校で取組を進めてきた成果だと考える。
- ・なかよし班活動(掃除や遊び)などで、高学年が下級生の良いお手本となっていることも成果の一つと考えられる。



△肯定的な回答が減ったもの

7. 学校や家ですすんで読書をしていますか。

- ・昨年度に比べて8%ダウン(69%→61%)。
- ・読書をする習慣が身につけていないと考えられる。また、分量のある本を読んでいる児童も少なく、読書の楽しさを感じる事ができていないと思われる。
- ・ボランティアの方による読み聞かせ、図書委員会の啓発、はるべ文庫、図書館からの貸し出しなど、読書に関する多くの取組を行っている。本を手にとったり、図書室に足を運んだりする児童が増えるようにさらに工夫していく。
- ・ぐんぐんカードや読書通帳、家庭読書週間など、家庭でも読書をする機会を継続して取り入れていく。

